
白衣の天使

麻未夢

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

白衣の天使

【Nコード】

N96050

【作者名】

麻未夢

【あらすじ】

看護師をしている彼女が作ってくれた料理に入っていた毒キノコにやられ、彼女の勤め先の病院に入院する事になった『俺』。彼女の同僚達にからかわれながらの療養生活も、ようやく終わりの日を迎えた。

「明日退院して良いって言ったって、まだ身体は本調子じゃないのよ。良いから、おとなしく寝てなさい」

そう言っ、俺の手から携帯ゲーム機を取り上げてしまったのは、付き合い初めてからもう3年になる彼女、美香だ。

一週間前、急な腹痛と吐き気で苦しむ俺の傍にいたのは彼女だけ。だが、彼女は苦しむ俺を前にして大して狼狽えることもなく、冷静に俺の症状を観察し、そして自分の勤め先である病院へ電話をかけた。そう、彼女は看護師だ。

俺は彼女の運転する車で、病院の救急搬送口に入り、すぐさま集中治療室に運ばれた……らしい。俺はその時には既に意識を失っていて、気がついた時にはこの病室のベッドの上で、目に涙を溜めた白衣の天使に見守られているって状態だった。

その白衣の天使は、俺が目を覚ましたのを見ると、少し照れくさそうに笑って、

「仕事中なの、また後で見に来るね」

そう言っ、そそくさと病室を後にした。そして美香から連絡を受けたのだらう、大して間を置かずやってきた別の看護師からは、
「美香ちゃん、すごく心配してたわよ。愛されてるね」

なんてからかわれる羽目になったけど、勿論嫌な気はしない。

医者から聞いた説明によると、俺は毒キノコにやられたそうだ。

そっ、いや美香が作ってくれた料理に椎茸と、それとはちよつと歯ごたえが違っキノコが入ってたやうな気がする。

それを聞いた美香は随分ショックを受けたやうで、白衣から普段着に着替えた姿で病室までやってきて、大泣きしながら俺に謝ってきた。

勿論、美香に悪気があつてやった事じゃないし、結果的に美香は俺の命を救ってくれた恩人だ。

俺は、美香に傍にあつたティッシュを箱ごと差し出しながら、
「気にすんなよ。それより、また料理作ってくれよな。今度は毒キノコは抜きでさ」

なんて笑って答えた。

それを、どうやら病室の外で聞いていたらしい美香の同僚看護師達から、

「優しい彼氏さんで良いなー」

なんてからかわれる羽目になったが、勿論嫌な気はしない。

そして退院の日、美香は同僚に休みを代わってもらったとかで、俺の付き添いとして一緒に家に帰ることになった。ナースステーションの看護師達からニヤニヤ笑いで見送られるのは勘弁願いたかったが、美香の同僚を無碍に扱うわけにも行かないしな。

「お世話になりました」

って頭を下げて、二人で帰宅の途についた。

「美香ちゃんの彼氏って、前にも入院した事あるんですよね」

「そうそう、確か去年の暮れだったかしら。自動販売機で買ったジュースに農薬が混入したとかで、警察が来たりして大変だったのよね。あなた、別の病棟だったから知らないでしょうけど」

「今度のキノコだって、スーパーで買った椎茸の中に混入してたって話じゃないですか。なんだか、ついてないですね、あの彼氏さん」

「だけど、看護師の彼女が傍にいるんだからラッキーよ。前回だって、救急車が到着する前に応急処置を済ませていたし、今回も症状を的確に伝えてくれたから、すぐに原因が特定できたわけだしね」

「美香ちゃんも、あんな優しい彼氏で幸せそうですよ。っていうか、完全に見せびらかしてましたよね！」

「あはは、そうね」

「ねえ、親戚からフグを送ってきたんだけど、今日はお鍋で良い？」

「お、良いねえ。……あ、でも椎茸はパスな」

「はいはい」

キノコ類に軽くトラウマを持った俺に、美香は優しく笑って頷いた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9605o/>

白衣の天使

2010年12月1日17時49分発行